

I 平成 25 年度 事業評価表

- 1 企画部
- 2 総務部
- 3 市民部
- 4 生活環境部
- 5 健康福祉部
- 6 子ども政策部
- 7 都市整備部
- 8 教育委員会

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備の推進	個別事業 掲載No	企 — 1
-----	--------------------------	--------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量>		<②事業実施による成果>		
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の建設工事着手 多機能複合施設整備に関する委託契約の締結 UR都市機構による事業用地取得に向けた取り組み 事業敷地周辺道路の無電柱化整備 		<ul style="list-style-type: none"> 施設の建設工事の推進 UR都市機構による事業用地取得 事業敷地周辺道路の無電柱化整備の推進 		
実施計画					
通年	<ul style="list-style-type: none"> 無電柱化整備の実施設計 UR都市機構による事業用地取得に向けた取り組み 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> UR都市機構と多機能複合施設整備に関する委託契約を締結 敷地西側道路（市道第226号線）の無電柱化整備に着手 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> 施設の建設工事着手

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
<p>今年度下半期に予定している施設の建設工事着手に向け、UR都市機構と多機能複合施設整備に関する委託契約を締結した。周辺道路の無電柱化整備については、敷地北側（市道第372号線）及び東側（市道第582号線）の詳細設計に取り組むとともに敷地西側（市道第226号線）の工事に着手した。</p> <p>下半期は施設の建設工事に着手し、整備事業が目に見える形で進んでいくこともあり、UR都市機構との連携を強化し、事業用地取得に向けた取り組みを着実に推進していく。</p>			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			
重点的に取り組む課題とする			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量>		<②事業実施による成果>		
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の建設工事着手 多機能複合施設の整備に関する委託契約の締結 UR都市機構による事業用地取得に向けた取り組み 事業敷地周辺道路の無電柱化整備 新規財源の獲得に向けた取り組み 		<ul style="list-style-type: none"> 安全かつ計画的な建設工事の進捗 事業用地取得に向けた一定の進捗 敷地北側及び東側道路（市道第372号線及び582号線）の無電柱化整備詳細設計の完了 敷地西側道路（市道第226号線）の無電柱化工事の進捗 多機能複合施設の整備に係る都補助金の獲得 		
実施状況					
通年	<ul style="list-style-type: none"> 無電柱化整備の詳細設計 UR都市機構による事業用地取得に向けた取り組み 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> 6月 UR都市機構と多機能複合施設の整備に関する委託契約を締結 8月 敷地西側道路（市道第226号線）の無電柱化工事に着手 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> 10月 施設の建設工事着手 3月 敷地北側及び東側道路（市道372号線及び582号線）の無電柱化整備詳細設計の完了

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	1	(2) 事業評価審査会評価	1
<p>工事単価の上昇などにより他自治体の公共工事で入札不調が相次ぐ中、UR都市機構による契約手続きが順調に進み、予定どおり、平成25年10月より施設の建設工事に着手した。なお、UR都市機構に対しては、防災公園部分の整備に係る経費の一部を負担するとともに、多機能複合施設部分の整備委託に対する経費を支出した。また、多機能複合施設の整備に対する都補助金を新規財源として獲得した。</p> <p>事業敷地周辺道路の無電柱化整備に関しては、北側及び東側道路（市道第372号線及び第582号線）の詳細設計を取りまとめるとともに、西側道路（市道第226号線）の無電柱化工事を実施した。</p> <p>平成26年度は、引き続き、安全かつ計画的な施設の建設工事を進めるとともに、無電柱化整備については、北側道路（市道第372号線）の工事にも着手する。また、UR都市機構との連携を維持し、用地取得に向けた取り組みを推進する。</p>			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	4,388,592	2,551,863	2,551,863
決算額	4,366,033		2,084,512
執行率(%)	99.5%		81.7%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の管理運営計画の策定に向けた取り組み	個別事業掲載No	企 — 2
-----	--------------------------------------	----------	-------

1 当初計画

目標指標	＜①実施する事業量＞		＜②事業実施による成果＞		
	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討 情報通信システムの検討 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握 		<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討の推進 情報通信システムの基本計画の作成 		
実施計画					
通年	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討 情報通信システムの検討 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザルによる情報通信システム導入支援業務委託事業者の選定及び委託契約締結 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信システムの基本計画の作成

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
＜上半期の実績及び課題等＞			
<p>管理運営計画の策定に向け、庁内関係部署と連携を図り、検討を進めた。また、情報通信システムについて、プロポーザルにより導入支援事業者を選定した後、庁内にて3つのワーキンググループを設置し、基本計画の作成に向けた検討に着手した。</p> <p>今年度下半期は、管理運営計画の検討を進めるとともに、情報通信システムについてはワーキンググループにおける検討を進め、基本計画を作成する。</p>			
＜事業評価審査会特記意見＞			
<p>＜政策会議における評価・意見等＞</p> <p>重点的に取り組む課題とする</p> <p>関係団体との調整を最優先に取り組むこと。管理運営計画については、質を確保しながら、効果的・効率的な内容とするとともに、施設のランニングコストについては、極力縮減すること。</p> <p>行財政改革の観点から、組織の見直しについても取り組むこと。</p>			

3 達成状況

目標指標	＜①実施した事業量＞		＜②事業実施による成果＞		
	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討 ワーキンググループによる情報通信システムの検討（各5～7回） 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握 		<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討の推進 情報通信システムの基本計画の作成 		
実施状況					
通年	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討 3つのワーキンググループによる情報通信システムの検討 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握 先進自治体への視察、システムデモの実施 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> 6月 プロポーザルによる情報通信システム導入支援業務委託事業者との契約締結 6月 ワーキンググループ（災害情報、健康・体力相談、施設予約）の設置 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> 3月 情報通信システムの基本計画の作成

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2																
<p>管理運営計画の検討については、新施設に集約する施設間の事業連携の具体化に向けた検討をはじめ、昨年度と同様に庁内関係部署との連携を図りつつも、利用団体等との調整等を継続し、管理運営計画の検討を進めた。情報通信システムについて、6月に災害情報、健康・体力相談、施設予約の3つのワーキンググループを立ち上げ、先進自治体への視察やシステムのデモを行いながら、システム導入に向けた基本的な方向性を検討し、基本計画を策定した。</p> <p>平成26年度は、利用団体等との調整、庁内関係部署との連携を図りながら、平成24年度より進めてきた管理運営計画を策定するとともに、情報通信システム導入に向け、基本計画をもとに調達仕様書等を作成する。</p>		<p>(3) 予算執行状況等 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>15,000</td> <td>4,725</td> <td>4,725</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>14,753</td> <td></td> <td>4,515</td> </tr> <tr> <td>執行率 (%)</td> <td>98.4%</td> <td></td> <td>95.6%</td> </tr> </tbody> </table>			24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	15,000	4,725	4,725	決算額	14,753		4,515	執行率 (%)	98.4%		95.6%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績																
予算額	15,000	4,725	4,725																
決算額	14,753		4,515																
執行率 (%)	98.4%		95.6%																

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	市内大規模土地利用転換に伴う総合的なまちづくりの調整	個別事業 掲載No	企 — 3
------------	----------------------------	----------------------	-------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量> ・日本無線 移転に関する検討、協議 ・杏林学園 移転に関する検討 連絡会及び作業部会の開催	<②事業実施による成果> ・日本無線三鷹製作所移転に係る市の対応の整理 ・杏林学園新キャンパス移転に係る課題整理	
実施計画			
通年	・日本無線 検討・協議 ・杏林学園 連絡会及び作業部会の開催	上半期 ・日本無線 検討・協議 ・杏林学園 作業部会の設置	下半期 ・日本無線 市の対応の整理、要望 ・杏林学園 市の対応の整理、要望

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等> 日本無線 協議及び情報交換を円滑に行うため連絡会設置に関する覚書を6月に締結し、7月に第1回連絡会を開催した。 杏林学園 連絡会及び作業部会（交通・周辺環境部会、地域貢献部会）を適宜開催し、移転に向けた協議を行った。また、9月に包括的な連携協定を締結し、多岐にわたる分野の事業連携を進めることと			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする			

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量> ・日本無線 連絡会 5回開催 ・杏林学園 連絡会 1回開催、作業部会（交通・周辺環境部会 5回開催、地域貢献部会 2回開催）	<②事業実施による成果> ・日本無線 「日本無線株式会社と三鷹市とのまちづくりに関する協力協定」締結 ・杏林学園 「杏林大学と三鷹市との包括的な連携に関する協定」締結	
実施状況			
通年	・日本無線 連絡会の開催 ・杏林学園 連絡会及び作業部会の開催	上半期 ・日本無線 6月 覚書締結 7月 連絡会開催 ・杏林学園 4月 連絡会開催 5、6、8、9月 交通・周辺環境部会開催 8月 地域貢献部会開催 9月 包括協定締結	下半期 ・日本無線 10、11、12、2月 連絡会開催 3月 協力協定締結 ・杏林学園 10月 交通・周辺環境部会開催 12月 地域貢献部会開催

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	(2) 事業評価審査会評価		
<p>日本無線(株)については、6月に連絡会に関する覚書を締結後、日本無線三鷹製作所移転後の土地利用転換等について意見交換・協議を行った。その結果として、三鷹市のまちづくりに資する土地利用の基本的な方針を示した「日本無線株式会社と三鷹市とのまちづくりに関する協力協定」を3月に締結したことは大きな成果である。</p> <p>杏林学園については、井の頭キャンパスへの移転に向け、連絡会及び2つの作業部会を設置し、交通・周辺環境や地域貢献等に関する具体的な協議を行った。また、9月に「杏林大学と三鷹市との包括的な連携に関する協定」を締結し、多岐の分野に渡るさらなる協働の推進を図るための大きな成果につながった。</p>	1		
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	0	0	0
決算額	0		0
執行率 (%)	0.0%		0.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」掲載 個別事業評価表

事業名	I C T街づくり事業の推進等地域情報化プラン2022の推進	個別事業 掲載No	企 — 4
-----	--------------------------------	--------------	-------

1 当初計画

目標 指標	＜①実施する事業量＞		＜②事業実施による成果＞		
	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2013 in Mitaka (仮称)の開催 (1回) ・地域情報化推進協議会の開催 (2回) ・地域情報化プラン推進会議の開催 (2回) ・庁内プロジェクト・チーム(番号制度)の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 50人 ・地域情報化プラン2022に基づく取り組みの提案 ・ビッグデータ利活用等に関する検討 ・社会保障・税番号制度の調査・検討 		
実施計画					
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト 実行委員会 (4回) ・庁内プロジェクト・チームの開催 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト 広報参加者募集、一次審査 ・第1回協議会開催 ・第1回プラン推進会議開催 ・庁内プロジェクト・チームの設置 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト コンテスト最終審査 ・第2回協議会開催 ・第2回プラン推進会議開催

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回プラン推進会議開催：平成24年度 I C T街づくり実証事業結果報告及び平成25年度取り組みについて協議 → (課題) 国の I C T利活用に関する実証事業を見据えた、地域と行政の課題解決のための I C T施策の精査 ・第1回コンテスト実行委員会開催：実施体制、予算、募集要項などについて協議 ・社会保障・税番号制度の調査・検討について、庁内にWGを設置し対応に向けた活動を開始した。 			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする 総務省 I C T街づくり推進事業については、庁内の推進体制の調整を十分行い、効果的に進めること。			

3 達成状況

目標 指標	＜①実施した事業量＞		＜②事業実施による成果＞		
	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2013 in Mitakaの開催 (1回) ・地域情報化推進協議会の開催 (1回) ・地域情報化プラン推進会議の開催 (1回) ・庁内プロジェクト・チーム(番号制度)での検討と活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・応募件数60件 (平成24年度55件) ・地域情報化プラン2022に基づく取り組みに対する提言を得た。 ・番号制度導入に向けた今後の取り組みと課題を整理するとともに、庁内外における連携の体制を整備した。 		
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト 実行委員会 (3回) の開催 ・庁内プロジェクト・チーム(番号制度)及びワーキング・グループ検討会議の開催 (3回) 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト 広報参加者募集、一次審査 ・第1回プラン推進会議開催 ・庁内プロジェクト・チーム(番号制度)の設置 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト 一次審査、最終審査 ・第1回協議会開催

4 事後評価 < 1. 高い(計画以上) 2. 普通(ほぼ計画どおり) 3. 低い(計画の7割未満) 4. その他(取り組み方針の変更等) >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2013 in Mitaka については、応募件数は増加しているが、参加地域等に固定化傾向があるため、応募地域の拡大に向けた周知手法の検討が課題である。 地域情報化推進協議会については、1回の開催となったが、貴重な提言があった。平成26年度は、地域情報化プラン2022の改訂を見据え、効果的な開催に努める。地域情報化プラン推進会議については、総務省事業「I C T街づくり推進事業」を推進したことから、1回の開催にとどまった。 番号制度については、庁内プロジェクト・チームを設置し、番号制度ハンドブック(導入編)の作成や全庁への影響度調査の実施など、平成28年1月の制度開始に向けた検討を行った。平成26年度も庁内外と連携を維持しつつ、今年度整理した課題について、引き続き検討し、導入に向けた準備を進めていく。		I C T街づくり推進事業については、平成25年度の実証等を踏まえ、着実な事業の推進に向けて取り組むことが望ましい。	
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	14,000	11,729	11,729
決算額	12,367		11,365
執行率(%)	88.3%		96.9%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	行財政改革の推進（組織改正の検討及び対話による創造的 事業改革手法の取り組みなど）	個別事業 掲載No	企 — 5
------------	--	----------------------	-------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量> ・組織改正 各部ヒアリングの実施 ・行政評価 事業評価審査会、審査会ヒアリングの実施 プロジェクトチームによる評価、検証	<②事業実施による成果> ・組織改正 組織改正案の検討 ・行政評価 対話による創造的 事業改革手法の試行及び検証 事業見直し（約50件）	
実施計画			
通年	・組織改正案の検討 ・対話による創造的 事業改革手法の試行及び検証	上半期 ・4～5月 基礎情報の整理 ・6～7月 主管部によるセルフ チェック ・8～9月 改善提案書の作成	下半期 ・10月 政策会議

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	
<上半期の実績及び課題等> 組織改正については、6月に組織・定数の見直しに向けた基本方針を決定し、平成26年4月の組織改正に向け検討を進めている。行政評価については、実施計画のとおり全事業をセルフチェックし、対話による事業見直しを進めている。また7月からプロジェクトチームによる事業改革手法の検証に着手した。				
<事業評価審査会特記意見>				
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする 都市再生、コミュニティ創生など直面する課題に的確な対応を図るために、組織の見直しに取り組むこと。				

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量> ・組織改正：組織条例等の改正 ・行政評価：事業評価審査会、対話による事業見直し、政策会議、26年度予算への反映 プロジェクトチーム報告書の作成	<②事業実施による成果> ・組織改正：安全安心課の総務部への移管、健康福祉部障がい者支援課の新設、都市再生の事務局体制の強化、子ども子育て支援新制度に向けた体制の整備 ・行政評価：対話による創造的 事業改革手法の試行及び検証 事業見直し（14件）	
実施状況			
通年	・組織改正検討、条例改正 ・対話による創造的 事業改革手法の試行及び検証	上半期 ・4～5月 基礎情報の整理 ・6～7月 主管部によるセルフ チェック ・8～9月 改善提案書の作成	下半期 ・10月 政策会議、重点事業81件を含む 予算編成方針の決定 ・12月 組織条例改正

4 事後評価 <1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等）>

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
<p>都市再生推進本部事務局の強化、障がい者支援課の新設、安全安心課の総務部への移管、子ども子育て支援新制度に向けた体制の整備など、市の重点課題に対応する組織改正を行った。平成26年度は、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備や市民生活に影響を与える国の制度改正等を見据え組織改正を検討する。</p> <p>行政評価については、対話による創造的 事業改革手法の結果14件の事業を見直し、その手法に関する検証結果を報告書にまとめた。市民本位の視点で適正な事業見直しがなされるよう、引き続き対話による創造的 事業改革を実施する。</p> <p>また、事務事業総点検運動を継続し、「ゼロ-アップ創造予算」等を含めた89事業を見直し、約2億4千万円の経費削減を図った。</p>			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	4,635	274	274
決算額	4,223		137
執行率 (%)	91.1%		50.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	男女平等参画のための三鷹市行動計画2022に基づく男女平等参画の推進	個別事業掲載No	企 — 6
------------	------------------------------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・民学産公協働講座の開催（3回） ・男女平等参画講座（3回） ・フォーラムの開催（1回） ・啓発誌の発行（年2回各8,000部）	<②事業実施による成果> ・講座、フォーラムの参加者数 延べ100人			
	実施計画				
通年	・審議会（年3回） ・女性のためのこころの相談 ・男女平等参画相談 ・女性センター機能の拡充	上半期	・6月 パネル展開催 ・8月 庁内推進連絡会議開催 ・9月 啓発誌発行	下半期	・民学産公協働講座の開催 ・フォーラムの開催 ・男女平等参画講座の開催 ・3月 啓発誌発行

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1		
<上半期の実績及び課題等> 男女平等参画審議会を6月に開催し、今年度の男女平等参画推進事業について意見交換を行った。DV防止の啓発を中心とした男女共同参画週間パネル展を6月に実施した。また、第二庁舎1階執務室に男女平等参画情報提供コーナーを設置した。今後、民学産公協働講座をはじめとした各種事業を実施していく。					
<事業評価審査会特記意見>					
<政策会議における評価・意見等> 金額精査のうえ予算化に努める					

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・民学産公協働講座（1回3部構成） ・男女平等参画講座（3回） ・市民フォーラム（1回） ・啓発誌の発行（年2回各8,000部）	<②事業実施による成果> ・講座、フォーラムの参加者数 延べ119人			
	実施状況				
通年	・6月、11月 審議会開催 ・女性のためのこころの相談 ・男女平等参画情報提供コーナーの開設	上半期	・6月 パネル展開催 ・9月 啓発誌の発行 ・9月 男女平等参画講座	下半期	・10月 男女平等参画講座 ・11月 庁内推進連絡会議 ・12月 フォーラム ・2月 民学産公協働講座 ・3月 啓発誌の発行

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
事業量・成果ともほぼ目標に達することができた。新規事業として「ワーク・ライフ・バランスのための民学産公協働講座」を実施し、市民との協働を推進した。女性センター機能の拡充としては、市役所第2庁舎1階に男女平等参画情報提供コーナーを開設したが、今後、さらに周知・PR、利便性の向上を検討していく。また、女性交流室に関して、登録団体連絡会の開催や講座の会場として活用するなどの取り組みを行った。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	9,269	8,223	8,234
決算額	7,457		7,329
執行率(%)	80.5%		89.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	非核・平和施策の推進	個別事業掲載No	企 — 7
------------	------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・憲法を記念する市民のつどい、戦没者追悼式及び平和祈念式典の開催 ・平和展、東京空襲資料展の開催 ・CAPワークショップの実施	<②事業実施による成果> ・平和推進関連事業の参加者数 延べ3,000人				
実施計画						
通年	・CAPワークショップの実施 ・戦争体験談のアーカイブ化 ・市民団体との打合せ会 ・平和関連パネル等の貸出	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">上半期</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">下半期</td> </tr> <tr> <td> ・5月 憲法を記念する市民のつどい開催 ・8月 平和のつどい開催 ・世界連邦三鷹支部総会 </td> <td> ・11月 平和の絵展開催 ・12月 平和カレンダー作成 ・3月 東京空襲資料展 ・地球市民講座 </td> </tr> </table>	上半期	下半期	・5月 憲法を記念する市民のつどい開催 ・8月 平和のつどい開催 ・世界連邦三鷹支部総会	・11月 平和の絵展開催 ・12月 平和カレンダー作成 ・3月 東京空襲資料展 ・地球市民講座
上半期	下半期					
・5月 憲法を記念する市民のつどい開催 ・8月 平和のつどい開催 ・世界連邦三鷹支部総会	・11月 平和の絵展開催 ・12月 平和カレンダー作成 ・3月 東京空襲資料展 ・地球市民講座					

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	
<上半期の実績及び課題等>				
5月の「憲法を記念する市民のつどい」、8月の「平和のつどい」等を計画どおり実施した。戦争体験談のアーカイブ化の一環として平和関連ビデオのDVD化や市ホームページ上への掲載を行った。CAPワークショップについては小学校3校で実施した。平和関連事業への幅広い参加者の増加を図ること等が課題である。				
<事業評価審査会特記意見>				
<政策会議における評価・意見等>				
金額精査のうえ予算化に努める 戦争体験者の証言を積極的に記録するとともに、手記等の収集も含め、記録の蓄積に取り組むこと。				

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・憲法を記念する市民のつどい、戦没者追悼式及び平和祈念式典の開催 ・平和展、東京空襲資料展の開催 ・CAPワークショップの実施（小学校4校、一般向け1回）	<②事業実施による成果> ・平和推進関連事業の参加者数 延べ2,818人				
通年	・CAPワークショップ（小学校4校、一般向け1回） ・戦争体験談のアーカイブ化（収録4件、映像作品のDVD化1件、ホームページでの映像掲載2件）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">上半期</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">下半期</td> </tr> <tr> <td> ・5月 憲法を記念する市民のつどい ・8月 平和のつどい ・7月 世界連邦三鷹支部総会 </td> <td> ・11月 平和の絵展 ・12月 平和カレンダー作成 ・3月 東京空襲資料展 ・3月 地球市民講座 </td> </tr> </table>	上半期	下半期	・5月 憲法を記念する市民のつどい ・8月 平和のつどい ・7月 世界連邦三鷹支部総会	・11月 平和の絵展 ・12月 平和カレンダー作成 ・3月 東京空襲資料展 ・3月 地球市民講座
上半期	下半期					
・5月 憲法を記念する市民のつどい ・8月 平和のつどい ・7月 世界連邦三鷹支部総会	・11月 平和の絵展 ・12月 平和カレンダー作成 ・3月 東京空襲資料展 ・3月 地球市民講座					

4 事後評価 <1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等）>

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
憲法を記念する市民のつどいや平和のつどい、各種講座やパネル展等を計画どおり実施することができた。参加者数は、目標に達しなかったため特に若い世代の参加促進につながるような工夫をさらに検討していく。戦争体験談のアーカイブ化事業については、関係団体の協力も得ながら4人の方の証言の収録を行うとともに、一部については、市ホームページに掲載した。今後は、より幅広く収録作業を進めるとともに、取りまとめや活用方法について検討していく必要がある。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	5,622	5,235	5,735
決算額	3,535		3,545
執行率 (%)	62.9%		61.8%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	三鷹ネットワーク大学事業の充実に向けた協働の推進及び「みたか太陽系ウォーク」の実施	個別事業掲載No	企 — 8
------------	---	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・ 4期で150コマの講座等実施 ・ 「みたか太陽系ウォーク」の開催	<②事業実施による成果> ・ 講座申込者数延べ12,000人、受講者満足度85%以上 ・ 「みたか太陽系ウォーク」参加人数1,700人（景品交換者数）			
実施計画					
通年	・ 協働研究事業 ・ 次世代まちづくり人財養成塾 ・ Ruby研究会	上半期	・ 理事会・総会 ・ 第1回経営諮問会議	下半期	・ みたか太陽系ウォーク ・ 第2回経営諮問会議

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
通年の実施計画である「協働研究事業」については、6月に募集・選考を行い、6団体を採択することとなった。三鷹まちづくり総合研究所としては「オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化に向けた研究会」第1回研究会を7月17日に開催し、「次世代まちづくり人財養成塾」を4月11日と5月9日、6月13日、6月30日(視察)の計4回開催した。上半期の実施計画の「理事会・総会」は5月21日に開催し、「第1回経営諮問会議」は5月23日に行った。9月21日から始まる「みたか太陽系ウォーク」についても準備を進めている。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			
金額精査のうえ予算化に努める 地域で活躍する人財育成と活躍の場の提供に取り組むこと。			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・ 4期で178件の講座等実施 ・ 「みたか太陽系ウォーク」の開催	<②事業実施による成果> ・ 講座申込者数延べ8,859人、受講者満足度88.1% ・ 「みたか太陽系ウォーク」参加人数2,104人（景品交換者数）			
実施状況					
通年	・ 協働研究事業 ・ 次世代まちづくり人財養成塾 ・ Ruby研究会	上半期	・ 理事会・総会（5月21日） ・ 第1回経営諮問会議（5月23日） ・ 国立天文台と協定書締結（8月8日）	下半期	・ みたか太陽系ウォーク（9月21日～10月27日） ・ 第2回経営諮問会議（11月19日）

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
各事業それぞれにおいて概ね当初計画どおり実施することができた。受講満足度88.1%と目標を達成することができたが、講座申込者数8,859人と達成することができなかったことから、引き続き申込者獲得に向けた丁寧な情報発信等に取り組んでいく。なお、「三鷹の森 科学文化祭」については、国立天文台と協定書を締結し、事業を展開した。みたか太陽系ウォークスタンプラリーについては、まちづくり三鷹等と連携を図り、関係商品の開発支援を行った。参加人数については、前年度1,629人から約30%増加した。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	73,371	70,528	70,528
決算額	51,144		50,656
執行率 (%)	69.7%		71.8%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」掲載 個別事業評価表

事業名	オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化の検討	個別事業掲載No	企 — 9
------------	-----------------------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・研究会開催（5回）	<②事業実施による成果> ・オープンソース・ソフトウェアを活用したビジネスモデルの構築	
実施計画			
通年	・研究会開催（5回） ・有識者による講演	上半期	・研究会準備及び設置 ・ビジネスモデルの検討 ・報告書作成

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
第1回（7月）及び第2回（8月）に開催した研究会では、市立小・中学校や市立図書館の情報システムに関するRubyシステム導入の課題や行政システムへの導入可能性について検討した。今後、地域活性化に向けた具体策について検討する。また、四市行政連絡協議会における職員合同勉強において、「図書館情報システムの共同利用」をテーマとしていることから、本研究会と連携した取り組みとする。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			
金額精査のうえ予算化に努める			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・研究会 4回開催	<②事業実施による成果> ・報告書作成 ・オープンソース・ソフトウェアを活用したビジネスモデルの構築の示唆	
実施状況			
通年	・7、8、11、12月 研究会開催	上半期	・7月 研究会設置 ・3月 報告書作成

4 事後評価 <1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等）>

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
平成24年度に引き続き三鷹まちづくり総合研究所に本研究会を設置し、オープンソース・プログラミング言語Rubyを活用した地域活性化策について検討を行った。外部有識者による講演やRubyを活用した業務上のシステムへの導入における課題整理を通して、市内事業者の技術力向上・体制づくり等に関する方策を報告書にまとめた。今後のRubyシステムを活用した地域活性化等における一つの指針となるものと考えられる。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	500	140	140
決算額	288		140
執行率(%)	57.6%		100.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	上連雀分庁舎（仮称）整備に向けた基本プランの作成	個別事業 掲載No	企 — 10
------------	--------------------------	----------------------	--------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量> ・基本プランの検討 ・関係団体等への情報提供、意見・要望等の把握	<②事業実施による成果> ・基本プランの作成			
実施計画					
通年	・基本プランの検討 ・関係団体等への情報提供、意見・要望等の把握	上半期	・5月 推進チームの設置	下半期	・2月 基本プランの作成

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	
<上半期の実績及び課題等> 「上連雀分庁舎（仮称）建替え推進チーム」を平成25年5月に設置し、ボランティアセンター等の関係団体と意見交換を行いながら、庁内関係部署と新施設の施設計画等の検討を進めてきた。下半期も引き続き、関係団体との意見交換、庁内関係部署との連携を図りながら、施設計画や整備スケジュール等を検討し、整備の基本方針となる基本プランを策定する。				
<事業評価審査会特記意見>				
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする				

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量> ・推進チームによる施設計画や整備方針等の検討 ・関係団体等への情報提供、意見・要望等の把握	<②事業実施による成果> ・「三鷹市上連雀分庁舎（仮称）整備に向けた基本的な考え方」の策定			
実施状況					
通年	・推進チームによる施設整備に向けた基本方針の検討 ・関係団体等への情報提供、意見・要望等の把握	上半期	・5月 推進チームの設置	下半期	・2月 「三鷹市上連雀分庁舎（仮称）整備に向けた基本的な考え方」策定

4 事後評価 <1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等）>

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
庁内関係部署からなる推進チームを設置し、社会福祉協議会をはじめとする関係団体との意見交換を行いながら、上連雀分庁舎（仮称）の施設整備に向けた検討を重ね、その基本的な方針として「三鷹市上連雀分庁舎（仮称）整備に向けた基本的な考え方」を平成26年2月に策定した。 平成26年度は、解体に向けた設計を進めるとともに、この「基本的な考え方」に基づき基本・実施設計を進める中で、関係団体との丁寧な意見交換を継続しつつ、施設開設後の管理運営のあり方についても検討を重ねていく。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	0	0	0
決算額	0		0
執行率 (%)	0.0%		0.0%